

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	指令情報課 担当課長 秋元弘和・田中正敏	
消防-09 指令活動事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	指令情報課	
		関連課		
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等を各種災害から保護するため。
効果	災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

市民等から各種災害通報を受信し、災害規模や種別に応じた消防・救急隊を選定し出動指令を行った。 消防・救急活動を円滑に遂行するための支援業務及び関係機関との連携のための情報伝達業務を行った。 消防救急無線のデジタル化について、共通波の管理・運営を県及び県内市町と共同で行うとともに活動波の管理・運営を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対称者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,232,814	35,664	当初予算(千円)	75,455			
	国県支出金	3,440		国県支出金				
	地方債	1,157,400		地方債				
	その他			その他				
	一般財源	71,974	35,664	一般財源	75,455			
事業運営	人員配置数	14.0	12.0	人員配置数	12.0			
	人件費(千円)	110,407	96,088	人件費(千円)	101,443			
	総事業費(千円)	1,343,221	131,752	総事業費(千円)	176,898			
	市民1人当りの経費(円)	7,569	743	市民1人当りの経費(円)	1,000			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線は消防活動において最重要設備であり、複雑多様化する災害に対し迅速的確な指令業務・災害対応を実施するには安定した稼動を維持管理し市民等へ更なる安全安心の提供を図る。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線は各種災害通信を受信し、災害規模・種別に応じた直近の消防・救急隊を選定し出動指令を行い、無線により情報を伝達するとともに出動車両間の情報交換・活動方針の伝達を行い、複雑多様化する災害に対し迅速的確な指令業務・災害対応を実施する消防活動の根源であるので、安定した稼動を維持管理するとともに、その機能を十分に活用できるような課員のレベルアップを図るとともに、高機能消防指令センターシステムを取扱える職員を多数養成し市民等へ更なる安全安心の提供に努める。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	高機能消防指令センターシステムの運用は専門的知識・技術が必要であるため、課員に対しあらゆる状況を想定した操作訓練を実施する。また、課員に休暇等が発生した場合に業務に支障が生じる恐れがあるため、課員以外でもシステム操作が可能な職員を養成する必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	課員に対し高機能消防指令センターシステムの運用訓練を実施しレベルアップを図った。また、課員以外でもシステム操作ができるよう本部員及び大船消防署員に対し操作研修を実施し操作可能職員の養成を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	高機能消防指令センターシステムの機能を十分に活用できるよう、課員一人ひとりが更に知識・技能のレベルアップを図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	円滑な指揮命令による災害活動等の達成率					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター構築による、出動指令体制の迅速化、システムの維持管理等を実施する。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	90.0	100.0							
	達成率	90.0%	100.0%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	導入したシステム等を十分に活用し、その機能を最大限に発揮するために操作技術の更なるレベルアップを図り、一貫した指令業務を行うために課員に対し業務の共通認識、個々の目標・課題を持たせ指令業務の万全を図り、市民等を各種災害から保護し災害に強く安心して暮らせるまちづくりの一翼を担い時代変化に的確に対応する。									
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---